## 貸借対照表 <sup>令和 3年 3月31日</sup>

資産の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定資産	(2, 144, 367, 374)	( 2, 218, 748, 795)	$(\triangle 74, 381, 421)$	
有形固定資産	< 1,521,042,590 >	< 1, 592, 398, 669 >	< △ 71, 356, 079 >	
土地	332, 980, 000	332, 980, 000	0	
建物	843, 170, 443	872, 583, 828	$\triangle$ 29, 413, 385	
建物附属設備	90, 147, 532	107, 430, 200	△ 17, 282, 668	
構築物	25, 008, 137	27, 525, 126	$\triangle$ 2, 516, 989	
教育研究用機器備品	57, 497, 399	77, 341, 254	$\triangle$ 19, 843, 855	
管理用機器備品	8, 748, 163	9, 127, 298	△ 379, 135	
図書	152, 313, 814	150, 049, 461	2, 264, 353	
車両	11, 177, 102	15, 361, 502	$\triangle$ 4, 184, 400	
特定資産	< 600,000,000 >	< 600, 000, 000 >	< 0 >	
第2号基本金引当特定資産	600, 000, 000	600, 000, 000	0	
その他の固定資産	< 23, 324, 784 >	< 26, 350, 126 >	< △ 3,025,342 >	
電話加入権	489, 920	489, 920	0	
収益事業元入金	14, 827, 294	17, 366, 136	$\triangle$ 2, 538, 842	
長期貸付金	5, 271, 790	5, 831, 790	△ 560,000	
出資金	941, 500	868, 000	73, 500	
差入敷金保証金	1, 794, 280	1, 794, 280	0	
流動資産	( 330, 533, 858)	( 321, 628, 238 )	( 8,905,620)	
現金預金	289, 015, 344	316, 090, 148	$\triangle$ 27, 074, 804	
未収入金	39, 162, 979	5, 077, 300	34, 085, 679	
立替金	145, 087	29, 418	115, 669	
仮払金	272, 165	85, 927	186, 238	
前払金	1, 938, 283	345, 445	1, 592, 838	
資産の部合計	2, 474, 901, 232	2, 540, 377, 033	$\triangle$ 65, 475, 801	

(単位 円)

負債の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
固定負債	( 100, 989, 197)	( 106, 210, 977)	$(\triangle 5, 221, 780)$	
長期未払金	30, 138, 428	39, 019, 484	△ 8,881,056	
退職給与引当金	70, 850, 769	67, 191, 493	3, 659, 276	
流動負債	( 397, 096, 201 )	( 461, 439, 966)	$(\triangle 64, 343, 765)$	
短期未払金	39, 887, 119	29, 409, 677	10, 477, 442	
前受金	341, 027, 700	413, 955, 000	$\triangle$ 72, 927, 300	
預り金	16, 181, 382	17, 945, 109	$\triangle$ 1, 763, 727	
仮受金	0	130, 180	△ 130, 180	
負債の部合計	498, 085, 398	567, 650, 943	$\triangle$ 69, 565, 545	
純資産の部				
科目	本年度末	前年度末	増減	
基本金	( 3, 937, 653, 638)	( 3, 915, 422, 893 )	( 22, 230, 745)	
第1号基本金	3, 277, 653, 638	3, 255, 422, 893	22, 230, 745	
第2号基本金	600, 000, 000	600, 000, 000	0	
第4号基本金	60, 000, 000	60, 000, 000	0	
繰越収支差額	$(\triangle 1, 960, 837, 804)$	$(\triangle 1, 942, 696, 803)$	( △ 18, 141, 001 )	
翌年度繰越収支差額	$\triangle$ 1, 960, 837, 804	$\triangle$ 1, 942, 696, 803	△ 18, 141, 001	
純資産の部合計	1, 976, 815, 834	1, 972, 726, 090	4, 089, 744	
負債及び純資産の部合計	2, 474, 901, 232	2, 540, 377, 033	$\triangle$ 65, 475, 801	

## (注記)

- 1. 重要な会計方針
  - (1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金…金銭債権の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を 計上している。

退職給与引当金…私立大学退職金財団に加入する教職員に係る退職給与引当金については、 期末要支給額85,821,500円の100%を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の 累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額を計上している。 新潟県私学振興会に加入する教職員については、期末要支給額36,547,201円から 新潟県私学振興会の給付金相当額を控除した額の100%を計上している。

(2) 預り金その他経過項目に係る収支の表示方法

預り金、仮払金、立替金、仮受金に係る収入と支出は、両建て表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

3. 減価償却額の累計額の合計額

1,801,444,025 円

4. 徴収不能引当金の合計額

her.

0円 該当なし

- 5. 担保に供されている資産の種類及び額
- 6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 45,322,897 円
- 7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策 第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。
- 8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース物件の種類

リース料総額

未経過リース料期末残高

教育研究用機器備品

5,441,856円

2,412,192円 1,232,000円

市 雨

1,478,400円